

二 経 営 方 針

1 校 訓

「自彊自律」「和敬禮節」 ～進んで自らを鍛え律し、他者には優しく礼儀正しく～

2 教育目標

教育基本法、学校教育法、長崎県教育方針等に則り、人格の完成をめざして、豊かな情操と道徳心、幅広い知識と教養、健やかな体を育ませると共に、理想を高く掲げ未来を創造するリーダーを育成する。

3 基本理念

- (1) 全教職員の協働精神により生徒一人ひとりの無限の能力と可能性を引き出す進学校
- (2) 授業、特別活動、部活動、講座等のあらゆる活動を通じて、自律心（学びの姿勢）を育成する進学校
- (3) 生徒、保護者、地域から信頼され、県民の負託に応えられるよう進化と深化を続ける進学校

4 本年度の重点努力目標

(1) 人間力の育成

- ① 「学習を基軸に据えた部活動との両立」を果たし、健康管理のできるタフな人間性を育む。
- ② 挨拶、掃除、容儀の指導を通じて、豊かな品性、南高生としての自覚と誇りを育む。
- ③ 時間や期限の厳守、三点固定による生活リズムの確立を通じて、自律心を育てる。
- ④ 清掃活動等の指導を通じて、感謝の気持ちや公共心、公德心を育てる。
- ⑤ 学校行事、生徒会活動、HR活動、部活動等を通じて、自主性や主体性を育む。
- ⑥ 生命の尊厳と人権を尊重する精神を理解させ、平和な社会を構築していく意志を育ませる。
- ⑦ 特別支援学校との交流活動を通じて、人間愛と共生の心、自他共に思いやる心を育ませる。

(2) 学びの体幹強化と進路実現

- ① 各学年の導入期について、教材開発や授業規律の徹底など、組織的・計画的な指導を行う。
- ② 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、ICT機器の積極的な活用を推進するとともに、一人一台端末の効果的な使用方法についての研究を図る。
- ③ 総合的な探究の時間を軸にした教科横断的な探究活動を通して主体的に学ぶ態度を育成し、多様性・協働性の高揚を図る。
- ④ 学力検討会、成績分析会を通じて、授業改善（授業のPDCAサイクルの確立）に取り組む。
- ⑤ 生活の記録をコミュニケーションツールとしても活用し、自らを鍛え伸ばす学びの姿勢を定着させ、自律心を育成する。
- ⑥ 「朝の読書」を通じて、感性を伸ばし価値観を広げ思考力を向上させ、基礎的学習能力の拡充を図る。
- ⑦ 総合的な探究の時間、卒業生による進路講演会、大学等のオープンキャンパスへの参加を通じて、進路選択能力の育成を図る。また、早期に総合型選抜・学校推薦型選抜の指導に取り組む。

(3) 保護者・地域の期待に応える学校づくり

- ① 海外研修、高大連携事業、朝の読書、Sプロ、南高祭、朝の挨拶運動など、本校の特色ある教育活動をさらに進化させる。
- ② 育友会活動への積極的支援、保護者との連携、相互理解をいっそう深める。
- ③ 安全・安心でより豊かな教育環境を整備する。
- ④ アンケートや面談、観察による生徒理解に努めるとともに、特別な配慮や支援が必要な生徒に対しては、スクールカウンセラーを含めて、教育相談委員会、特別支援教育委員会等の組織的な対応と支援を行う。
- ⑤ ホームページやメールメイト、学校だより「緑柏」、「学年だより」等を通じて情報発信に努めるとともに、中学校や地域との連携を深め、更なる南高の良さ・魅力を高める。
- ⑥ ユネスコスクールの認可を受け、「世界や地域の持続可能な社会の担い手に必要な、誠実で心身ともにたくましい人材を育成する」の理念のもと特色ある教育活動を研究し、更なる本校の魅力化を図る。
- ⑦ 同窓会・育友会・学校・生徒会が一体となって、更なる愛校心・母校愛・求心力を高め、学校の活性化を図る。